

全自動食器洗い機

設置工事説明書

(固定ドア仕様は17ページ以降参照)

設計・設置工事をされる方へ

この「設置工事説明書」を設計・施工される前にお読みください。

⚠ 設置場所のご注意

浴室、ベランダ(雨の当たる所)、地下室など湿気が大量に発生する場所には絶対に設置しないでください。絶縁不良、サビ、接触不良が発生し、故障の原因になります。また、感電や漏電による火災の恐れがあります。

- ビルトイン設置前に、本体に梱包されている部品を確認してください。
- 万一使用方法・箇所が不明の部材があった場合、廃棄せずに保管しておいてください。

1. 部材の使用箇所と同梱部材リスト、及び給水・排水・電源設備

別途ご準備頂く部材

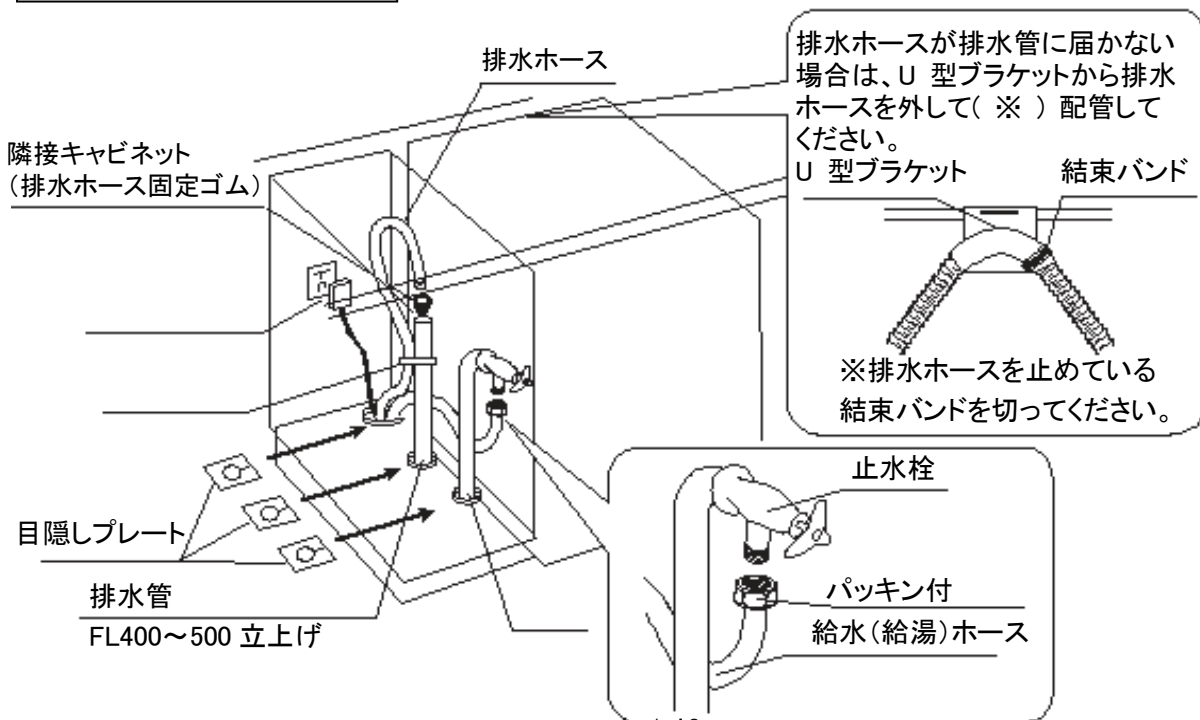
- ①給水(給湯)止水栓 1/2"
(給水ホースに1/2"メスネジ付き)
- ②排水管 HT40 φ FL より 400 mm 立上げ
- ③電源コンセント
単相 200V 20A(アース付き)
2 極接地付コンセント
(JIS C 8303)
- ④結束バンド



機器付属品

- ⑤接続口金 PT1/2" (ホースに付属)
(パッキン付属)
- ⑥給水(給湯)ホース 1.6m(機器に付属)
- ⑦排水ホース 2.0m(機器に付属)

隣接キャビネットの設置例



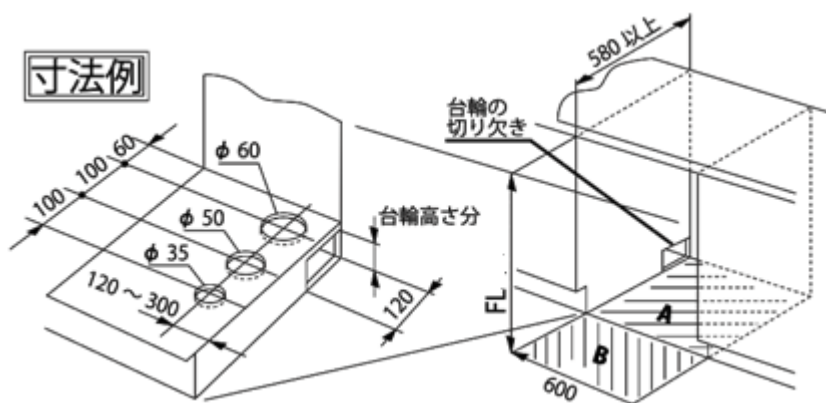
- 給水(給湯)水圧は 0.03 ~ 1MPa(0.3 ~ 10.2kgf/c m²)
水量は 10L/分必要です。
- 給湯接続する場合は湯温 65°C以下に調節してください。
- 排水管は耐熱塩ビ管(HT40 相当品以上)を用いて床から 400 mm立ち上げてください。
- 食器洗い機の設置場所は使い勝手が良く、設備施工も容易なのでシンクの隣が最適です。

同梱部材リスト

※スライドドア仕様と固定ドア仕様で使用部品が違います。

		共通使用	スライドドア	固定ドア
洗剤(サンプル)		1		
サンリーゴム		1		
隙間隠しプレート(3枚セット)		1		
本体固定部材セットドア材 固定キット	本体固定用スペーサー	4		
	本体固定ネジ(25mm)	4		
	ドア材取付金具 A		2	
	ドア材取付金具 B		2	
	ドア材取付金具 C		2	2
ドア材取付金具固定ネジ(T20 15mm)			14	
ドア材取付用ネジ(38mm)		4		
ステータスライト金具(31mm、34mm)		1		
ドア用仮ハンドル		1		
トルクス T20 工具		1		
ドア材固定穴カバー			4	
防湿版		1		
固定釘		4		
ドア材取付型紙		1	表面	裏面

2. キャビネットと隣接キャビネットの開口

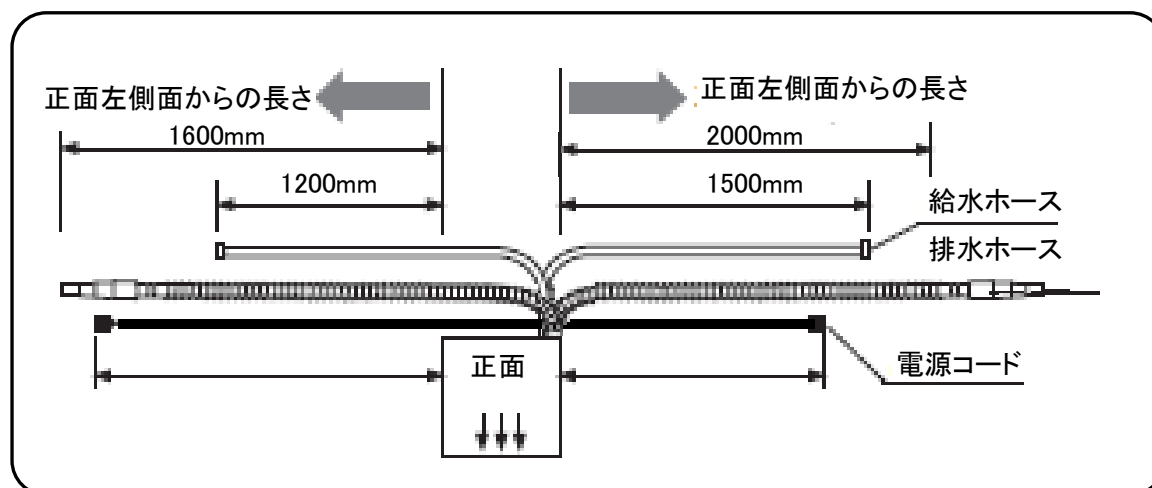


- 修理等の際に本体が引出せるように本体設置床(A)面と本体前の床(B)面は同一レベル面に仕上げてください。(段差がないようにしてください)
- 上記寸法の範囲内であれば隣接キャビネットの位置は本体の左右どちら側でも構いませんが、点検時や緊急時に各設備に手が届きやすい状態に仕上げて下さい。

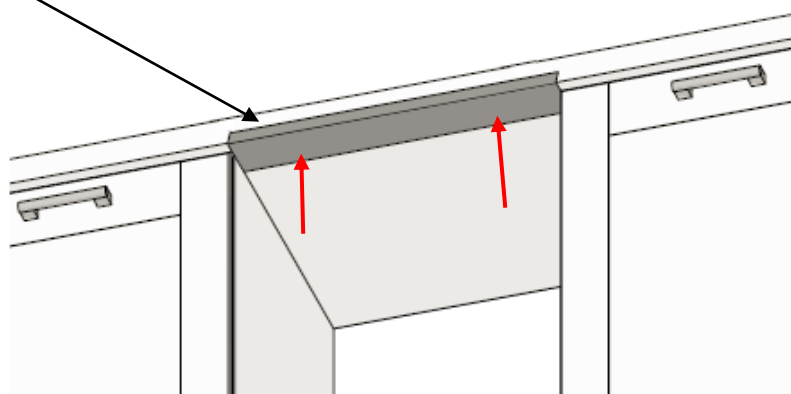
〈U型ブラケットについて〉

- ・U型ブラケットはサイホンにより給水が庫内に溜まらない状態や、排水の逆流を防ぐために排水ホースを本体背面の上部で固定しています。
- ・設置例や寸法例のような設置が困難で排水ホースの長さが足りない場合は、排水管を400～500mmの高さで立上げた場合に限り、取外して排水ホースを延長することができます。
(右上図『隣接キャビネットの設置例』参照)

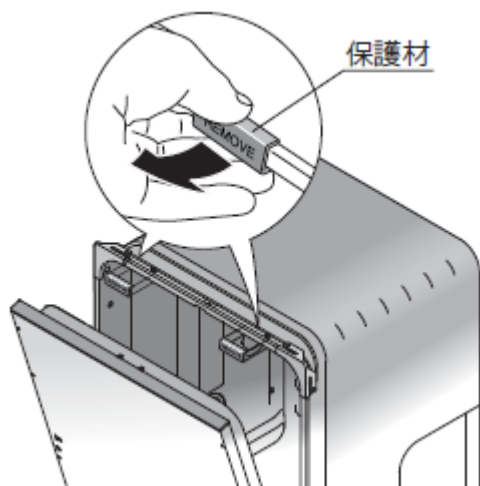
U型ブラケットを外した場合の、各コードとホースの長さは下図の通りです。



同梱の釘を使用して**防湿板**をキッチン天板の裏に固定してください。



3. ドア内側保護材の取外し

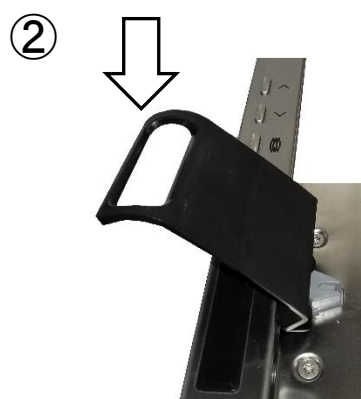
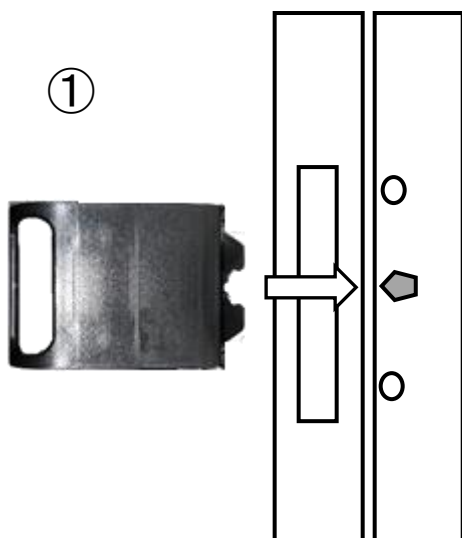


ドアの内側にある赤い樹脂製の保護材(2 個)を取外してください

4. 仮ドアハンドルの使用方法

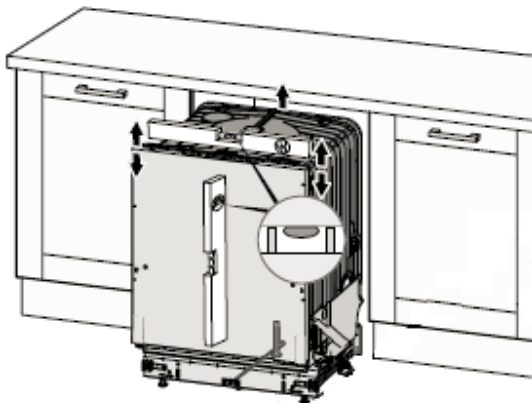
ドア材を取付ける前に、仮ドアハンドルをつける事により、ドアが開けやすくなります。

- ① ドアロック部に仮ドアハンドルの切り欠きを取り付けてください。
- ② 仮ドアハンドルの先端を押してください。
- ③ ドア材を取り付けたら仮ドアハンドルを外して下さい。

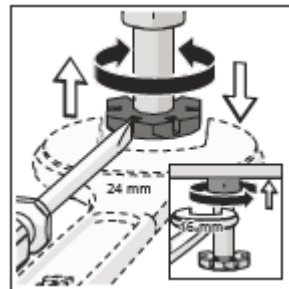


5. 足の調整

カウンターの高さに合わせて機器が水平になるように本体の足を調整します。



前脚の調整(2本)



24mm のスパナ 又は マイナスドライバーを使って前脚の高さを調整してください。

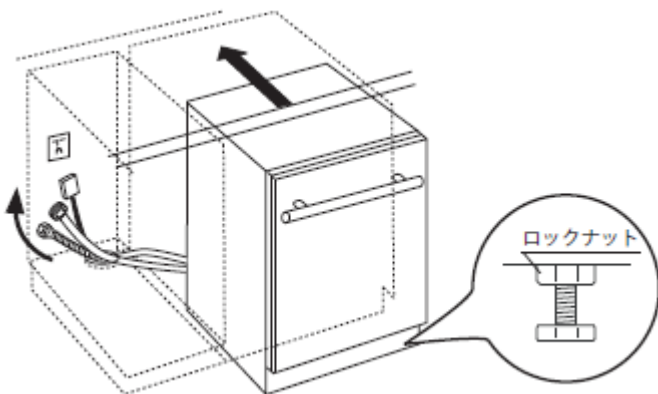
後脚の調整(1本)



後脚は T20トルクスドライバー又は 1/4 ボックスレンチを使って後脚の高さを調整してください。

機器の後ろを少し持ち上げると、調整がやりやすくなります。

6. キャビネットへ収まり確認



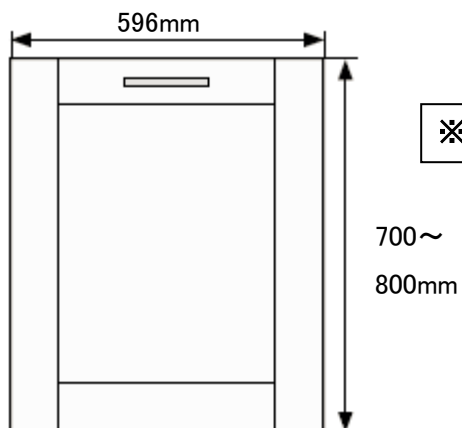
機器の高さが調整出来たら、ホース・電源コードがよじれないように注意しながら引き込み穴に通し、本体を徐々に押し込みます。

本体の水平を確認しながら本体の脚を微調整し、その後にロックナットを締付けます。

7. ドア材の加工

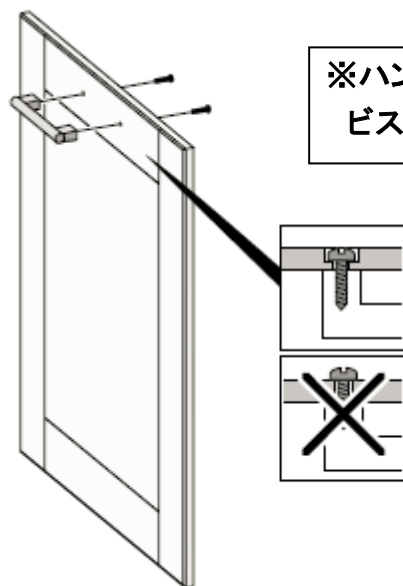
ドア材に必要な穴を開けます。

ドア材の寸法と重さ



※ドア材は 4~12Kg 以内で作成してください。

ドア材にハンドルが必要な場合は、この段階で穴を開けてください。

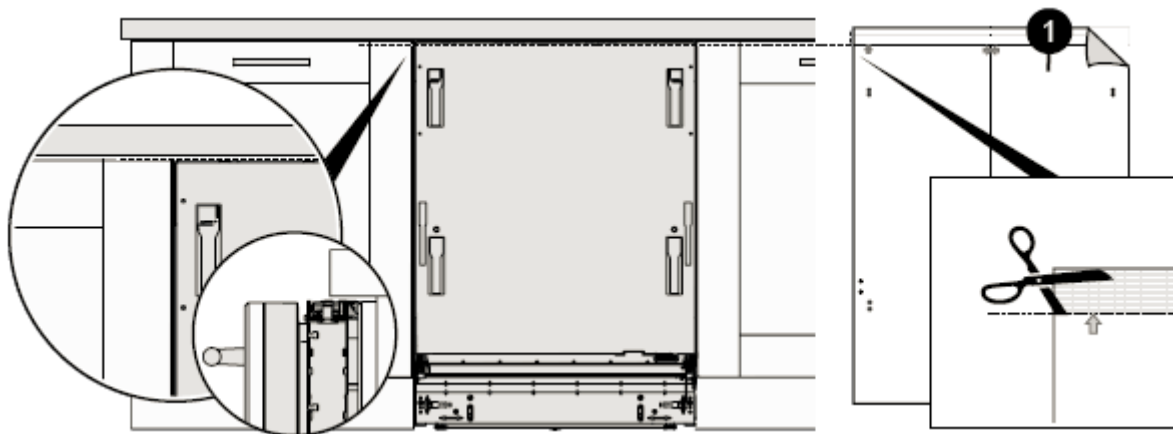


※ハンドル固定ビスは、ドア材内側表面より
ビスの頭が飛び出さないよう固定してください。

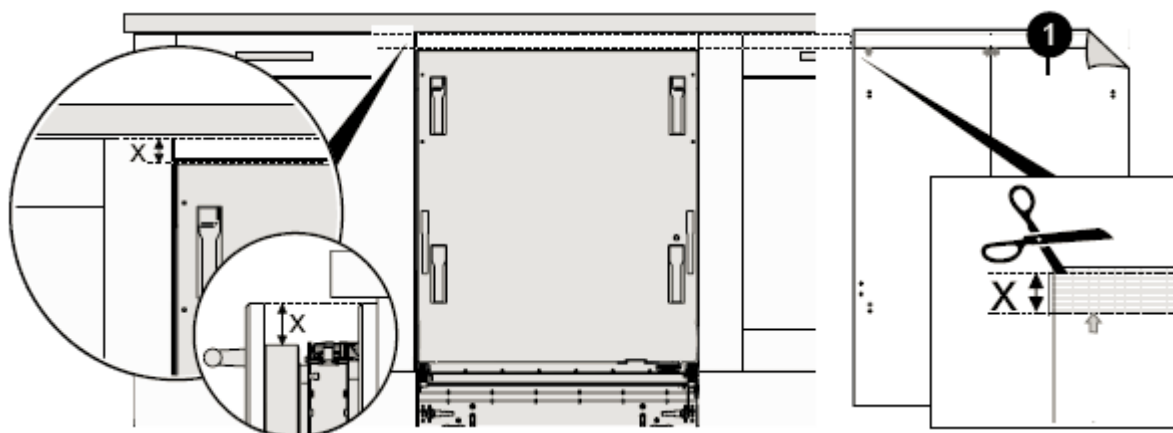
ドア材型紙をドアにセットします。

スライドドア仕様にする場合は、型紙の A 面 を使用
固定ドア仕様にする場合は、型紙の B 面を使用

①:ドア材の上面と操作パネルの上面が同じ高さの場合の型紙カット位置してください。

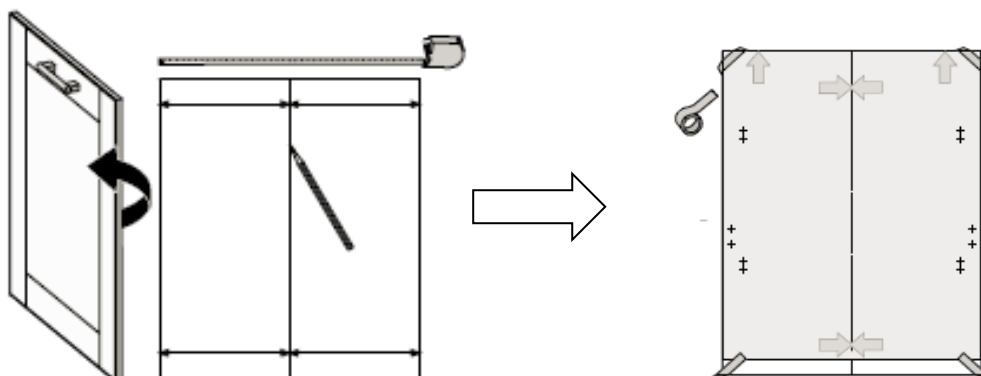


②:ドア材の上面が、操作パネルの上面より Xmm 高い場合の型紙カット位置

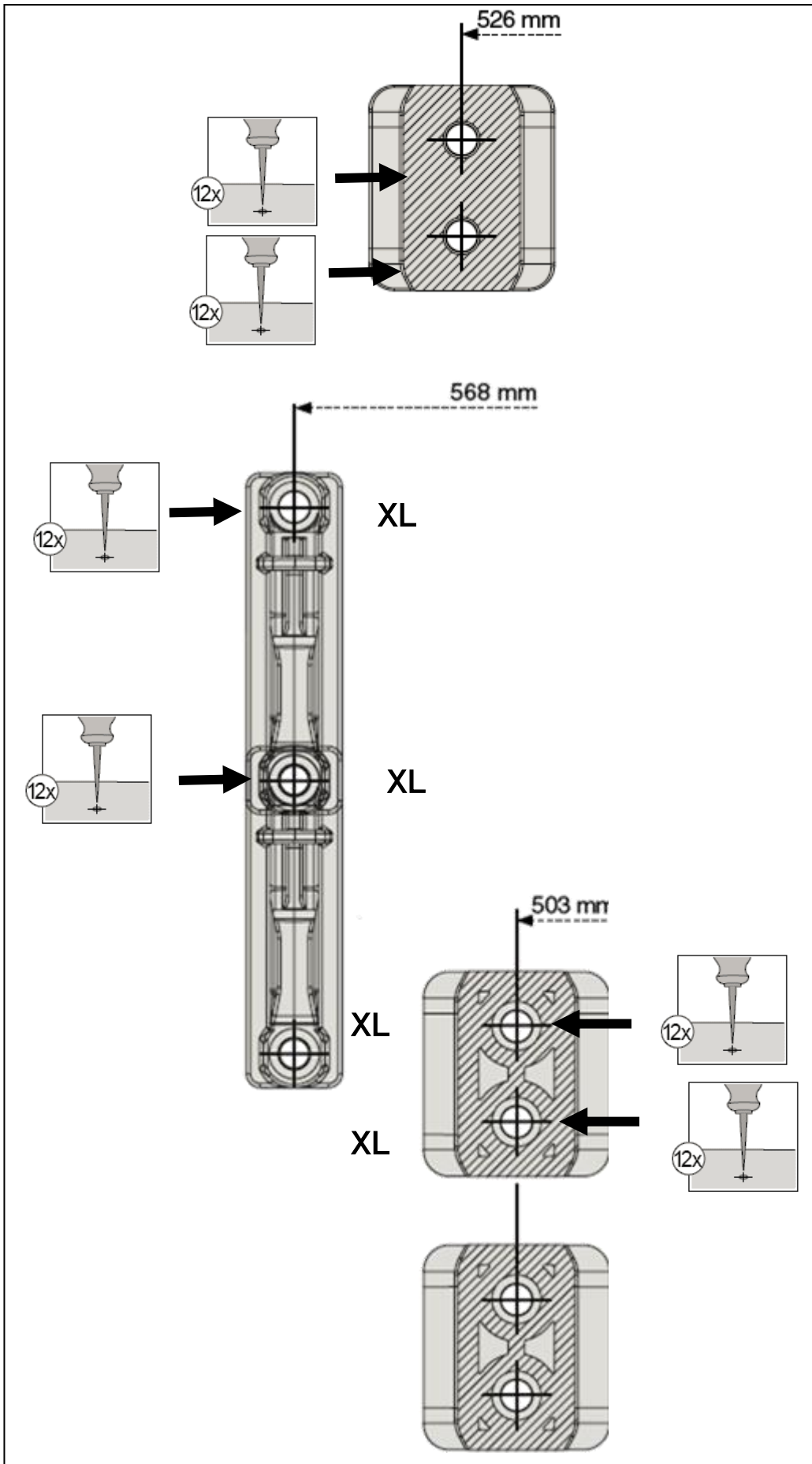


スライドドア仕様 型紙 A 面

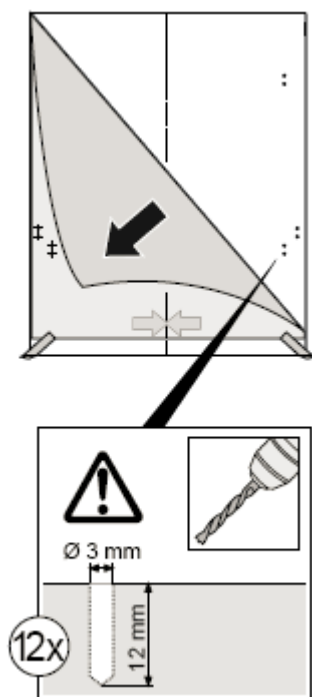
ドア材のセンターと型紙のセンターを合わせ、型紙をドア材の内面にテープで固定してください。



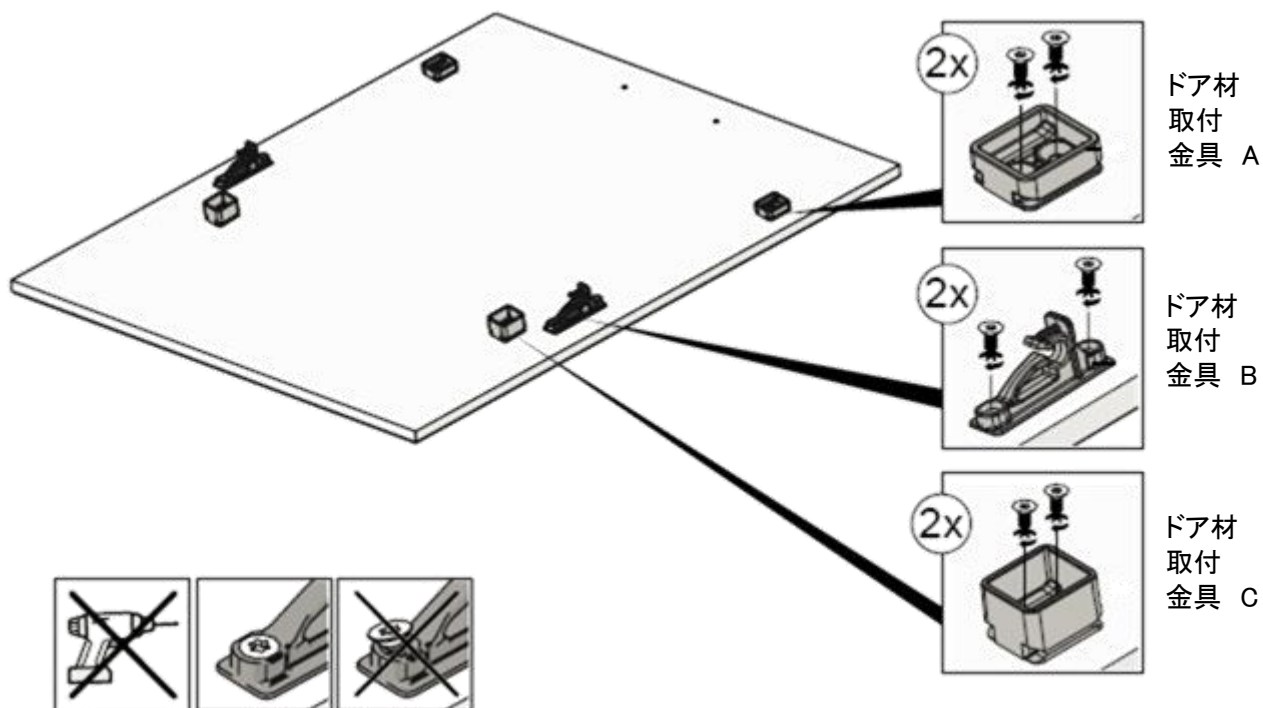
XLと書かれた、ドア材取付金具 の穴位置 12か所 に センターポンチを打ってください。(下図矢印部)



型紙を外し、ポンチを打った部分に直径 3mm、深さ 12mm の穴を開けてください。

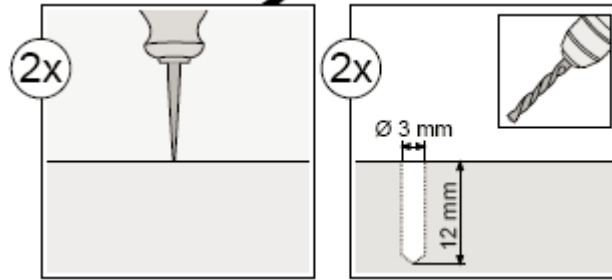
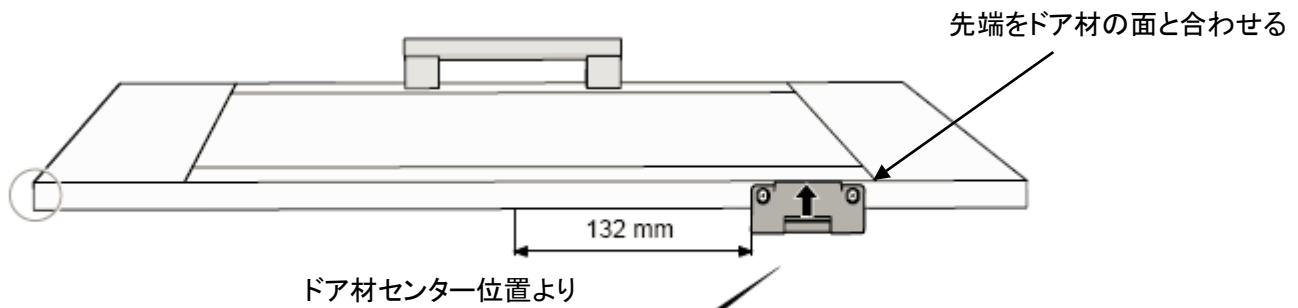


3 種類のドア材取付金具を ネジ(T20 x 15mm)を使い、固定する。

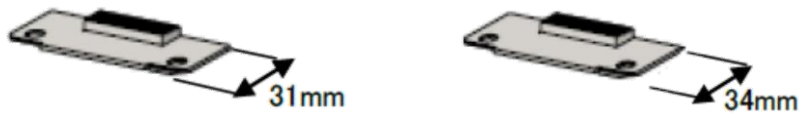


注意 : ネジは電動工具を使わず手締めで願います。
ネジは最後まで正しく締めてください。

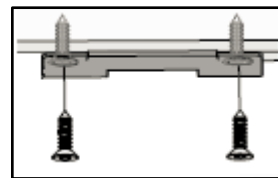
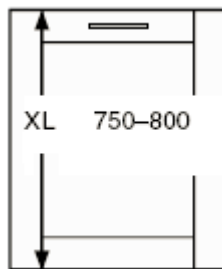
下図を参照して、ステータスライト金具取付用穴を $\Phi 3\text{mm}$ のキリで深さ 12mm に 2 か所 開けてください



ドア材厚みが 16~19mm は 奥行 31mm タイプ 19~22mm は 奥行 34mm タイプ を使用してください。

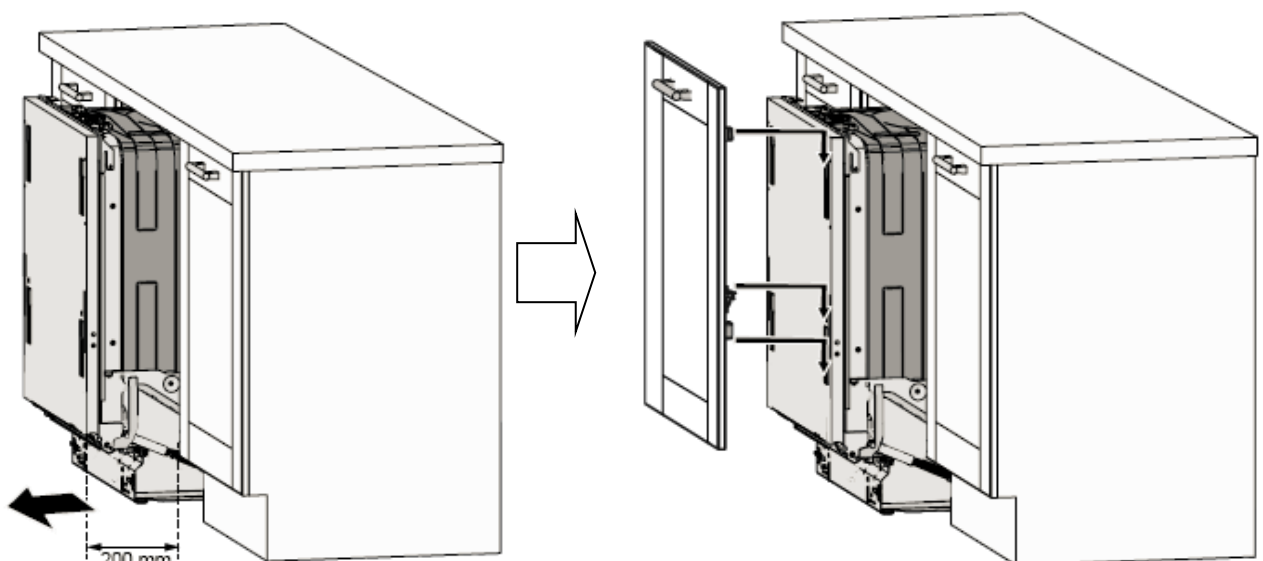


ドア材の長さが 750~800mm の場合はここでステータスライト金具を取り付けてください。



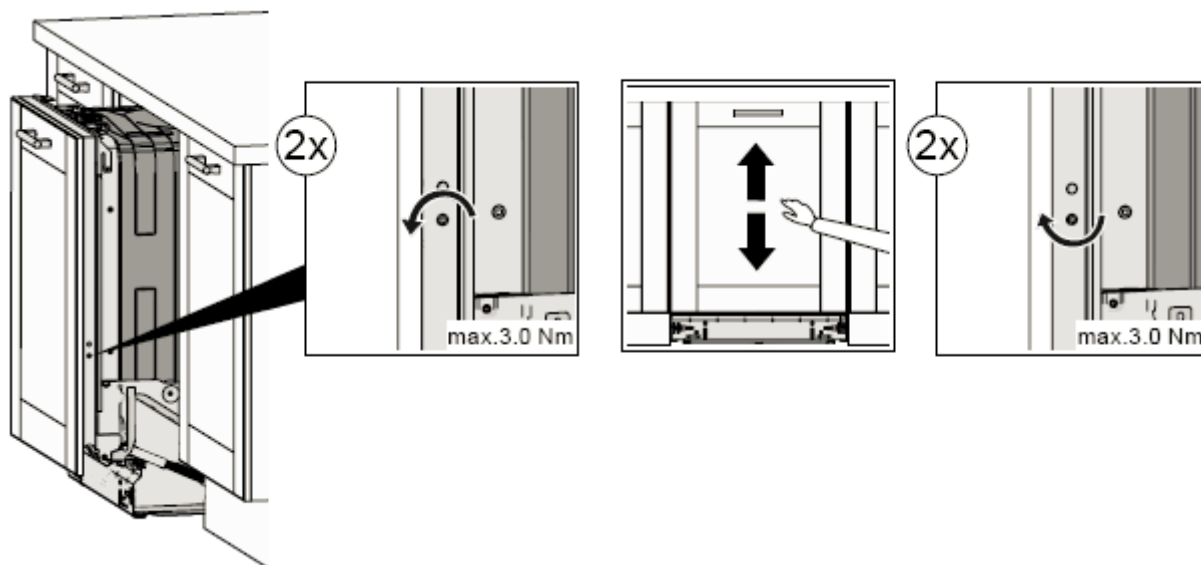
T20 x 15mm 使用してください

機器を 200mm キッチンより引き出して、ドア材を引っかけてください。

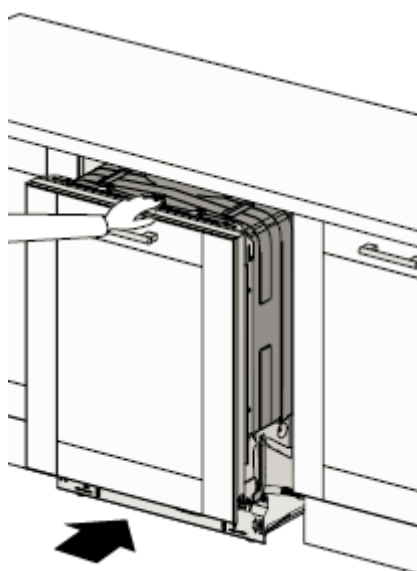


8. ドア材の調整

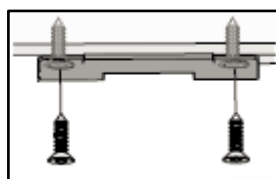
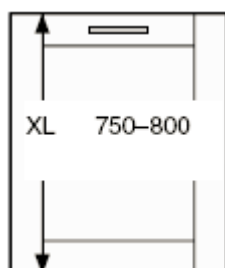
本体横のネジ(T20)を調整し、ドア材が平行になるように調整してください。



本体をキッチンへ挿入してください。

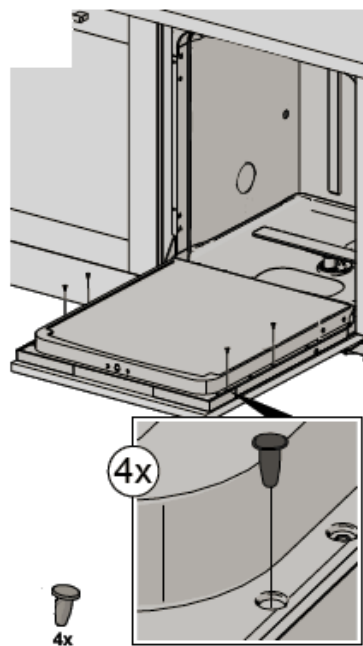


ドア材の長さが 720~750mm の場合は、ステータスライト金具を取り付けてください。



T20 x 15mm 使用してください

ドア材固定ネジ穴をカバーで4か所塞いでください。



9. 給排水・電源の接続

給排水・電源を接続してください。

本体設置後、給排水・電源を接続します。

※本体の設置箇所と給排水の接続箇所が離れていて標準の給排水ホースの長さが足りない場合は、下記のオプションホースに取り換える必要があります。

●給水延長ホース（パーツ番号 8060027 / 長さ 3m）

●排水延長ホース（パーツ番号 8060026 / 長さ 3m）

※給水ホースの締付けトルクは 15Nm です。

排水ホースの固定

1) 排水ホースの先端にサンリーゴムを差込みます。

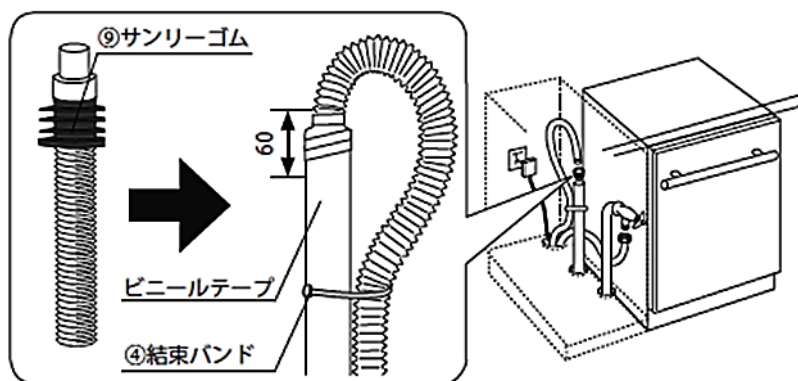
※サンリーゴムは右図の位置までしか入りません。

2) 排水管に排水ホースを差込みます。

排水ホースを差込んだ後に、結束バンドなどを使用して排水管に固定してください。

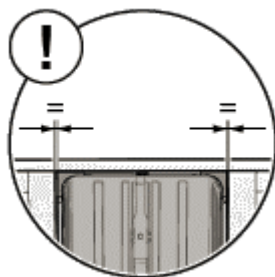
3) 排水ホースの設置状態により排水ホースとサンリーゴムの間に隙間が発生することがあります。

隙間がないように幅広のビニールテープを巻きつけてください。



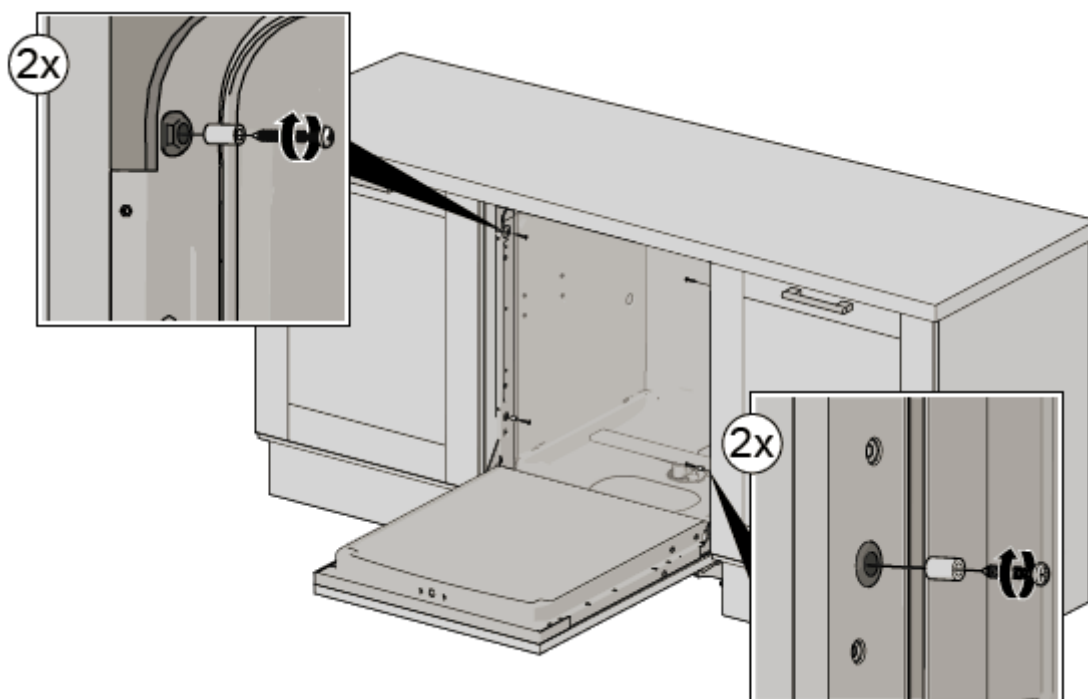
10. 機器の固定

機器の左右の隙間が同じになるよう、
機器の左右の位置を調整してください。



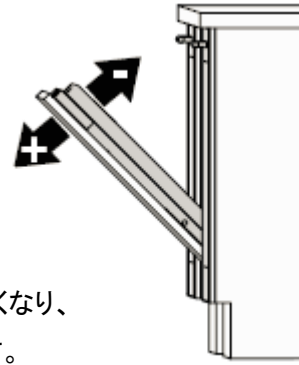
本体固定用スペーサーと長さ 25mm のネジを使って、4 か所固定してください。

ビスを強く締めすぎると、本体が変形し水漏れなどの原因となります。本体が変形しないように確認しながら
手締めでビスを締めてください。



10. ドアスプリングの調整

ドアスプリングが強過ぎないか、反対にスプリングが弱くてドアがバタンと落ちないか確認し、必要に応じて左右のドアスプリングを調整してください。

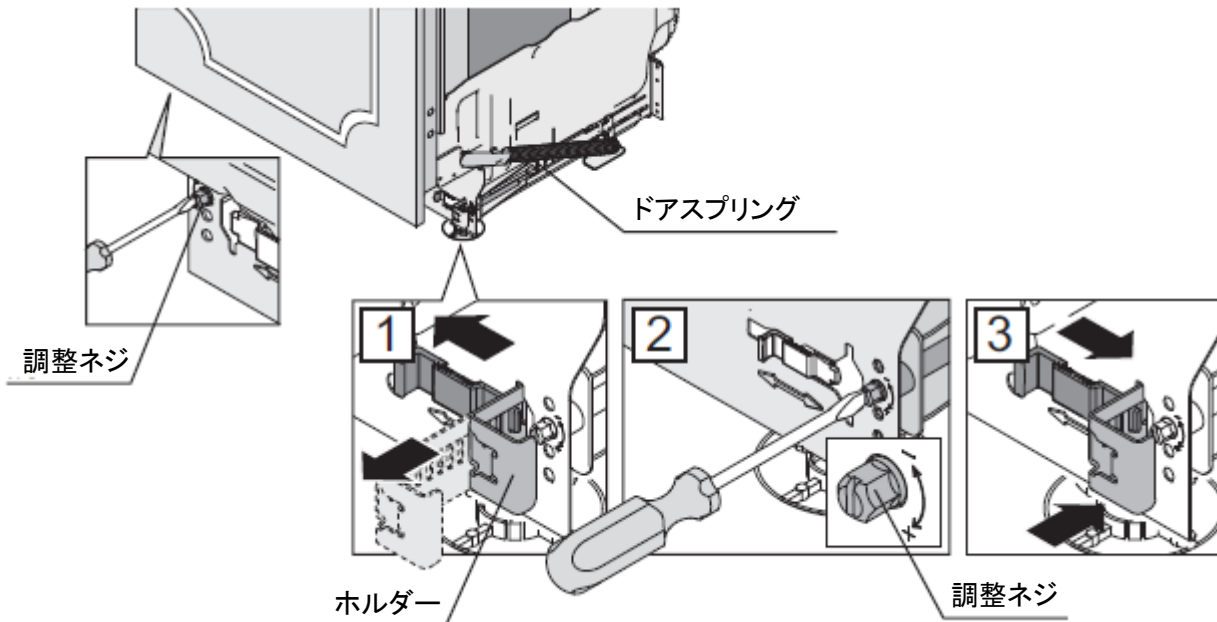


- 1) ホルダーを取外します。
- 2) 調整ネジを使用してドアスプリングの張りを調整します。

調整ネジを時計方向にまわすとドアスプリングの張りが強くなり、
反時計方向にまわすとドアスプリングの張りが弱くなります。

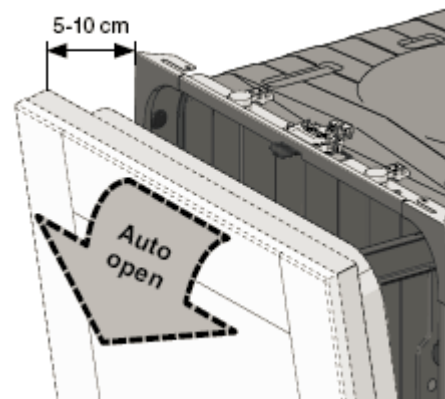
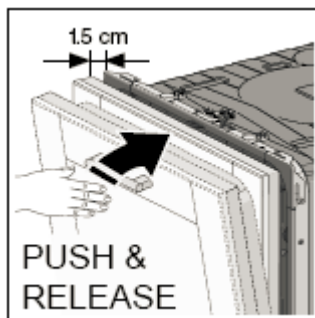
注意 : ドアスプリングの調整は、ドアをどの位置で放してもドアが自然に動かないようにしてください。

- 3) プリンスパネルホルダーを取付けます。



ドア開閉の確認

ドアを手で押した場合は、1.5cm 程度ドアが開きます。
オートオープンで開いた場合は 5~10cm 程度開きます。



11. 設置工事後の点検確認事項

本機を作動させる前に、下記内容を点検してください。

- 排水管が床面から 400～500 mmの高さに立ち上げられている。
- 排水ホースが排水ポンプ、および排水管に接続される。
- すべての梱包材や説明書等が本機から取外されている。
- 本機が水平で正しく固定されている。
- ドアを開閉しても周囲のキャビネットやカウンタートップに接触しない。
- 給水(給湯)ホースや排水ホースが折れていない。
- 止水栓が開いている。
- 接続箇所からの水漏れが無い。
- ドアスプリングの調整は正しいか。(ドアを半分開けても、ドアが下がらない)

試運転時は給水と排水を最低限 1 回行い、下記内容を確認してください。

- 給水(給湯)では、水が完全にフィルター表面を覆うまで入っているか[最初に給水(給湯)する際は、給水パイプ内に空気が残っているため、きちんと給水(給湯)されない場合があります]。
- 適切に排水されているか[臭気止めのため、庫内フィルター付近に多少の水は残ります]。
- 給排水の接続部には漏水がないか。

輸入販売元 **株式会社 ツナシマ商事**

<http://www.tsunashimashoji.co.jp/>

本社 〒106-0031 東京都港区西麻布 2-22-2 電話 03-6712-5721 (代)
大阪営業所 〒567-0031 大阪府茨木市春日 1-16-11 1F 電話 072-657-9907 (代)

全自動食器洗い機

設置工事説明書

設計・設置工事をされる方へ

この「設置工事説明書」を設計・施工される前にお読みください。

⚠ 設置場所のご注意

浴室、ベランダ(雨の当たる所)、地下室など湿気が大量に発生する場所には絶対に設置しないでください。絶縁不良、サビ、接触不良が発生し、故障の原因になります。また、感電や漏電による火災の恐れがあります。

- ビルトイン設置前に、本体に梱包されている部品を確認してください。
- 万一使用方法・箇所が不明の部材があった場合、廃棄せずに保管しておいてください。

1. 部材の使用箇所と同梱部材リスト、及び給水・排水・電源設備

別途ご準備頂く部材

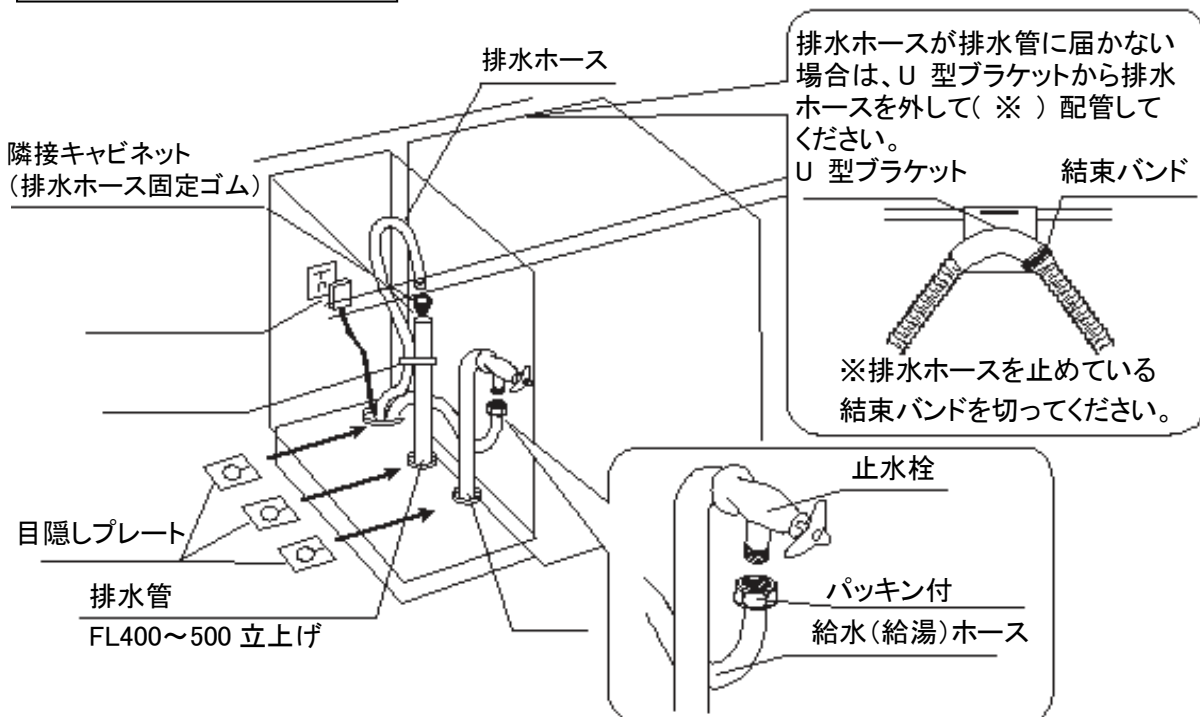
- ①給水(給湯) 止水栓 1/2"
(給水ホースに1/2"メスネジ付き)
- ②排水管 HT40 φ FL より 400 mm 立上げ
- ③電源コンセント
単相 200V 20A(アース付き)
2 極接地付コンセント
(JIS C 8303)
- ④結束バンド



機器付属品

- ⑤接続口金 PT1/2" (ホースに付属)
(パッキン付属)
- ⑥給水(給湯)ホース 1.6m(機器に付属)
- ⑦排水ホース 2.0m(機器に付属)

隣接キャビネットの設置例



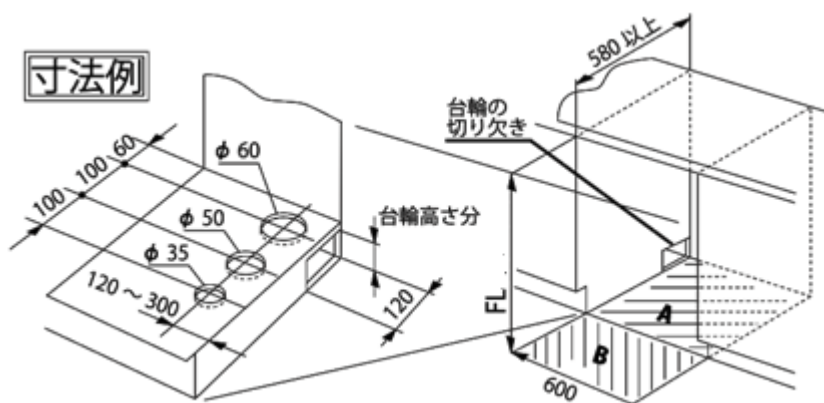
- 給水(給湯)水圧は 0.03 ~ 1MPa(0.3 ~ 10.2kgf/c m²)
水量は 10L/分必要です。
- 給湯接続する場合は湯温 65°C以下に調節してください。
- 排水管は耐熱塩ビ管(HT40 相当品以上)を用いて床から 400 mm立ち上げてください。
- 食器洗い機の設置場所は使い勝手が良く、設備施工も容易なのでシンクの隣が最適です。

同梱部材リスト

※スライドドア仕様と固定ドア仕様で使用部品が違います。

		共通使用	スライドドア	固定ドア
洗剤(サンプル)		1		
サンリーゴム		1		
隙間隠しプレート(3枚セット)		1		
本体固定部材セットドア材 固定キット	本体固定用スペーサー	4		
	本体固定ネジ(25mm)	4		
	ドア材取付金具 A		2	
	ドア材取付金具 B		2	
	ドア材取付金具 C		2	2
ドア材取付金具固定ネジ(T20 15mm)			14	
ドア材取付用ネジ(38mm)		4		
ステータスライト金具(31mm、34mm)		1		
ドア用仮ハンドル		1		
トルクス T20 工具		1		
ドア材固定穴カバー			4	
防湿版		1		
固定釘		4		
ドア材取付型紙		1	表面	裏面

2. キャビネットと隣接キャビネットの開口

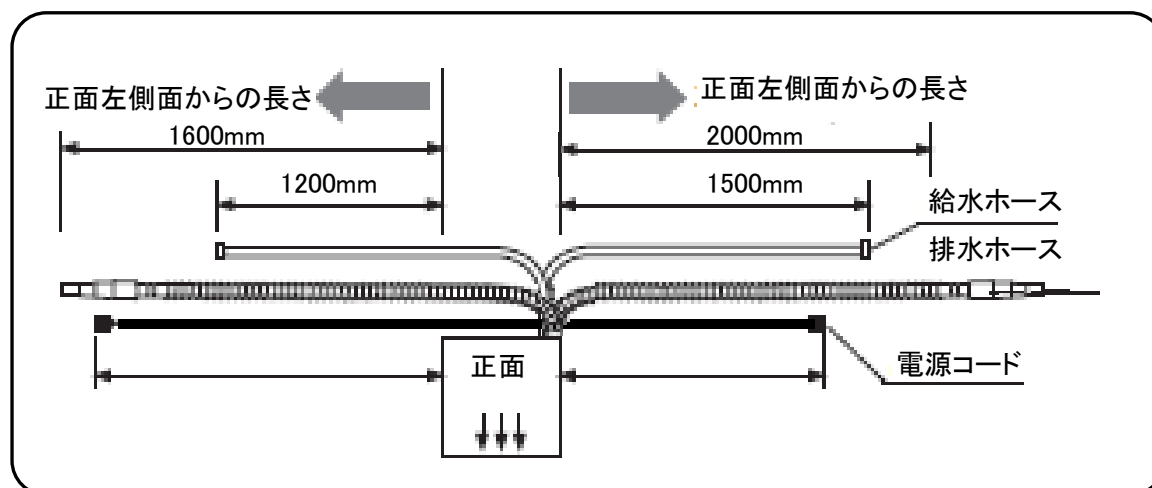


- 修理等の際に本体が引出せるように本体設置床(A)面と 本体前の床(B)面は同一レベル面に仕上げてください。(段差がないようにしてください)
- 上記寸法の範囲内であれば隣接キャビネットの位置は本体の左右どちら側でも構いませんが、点検時や緊急時に各設備に手が届きやすい状態に仕上げて下さい。

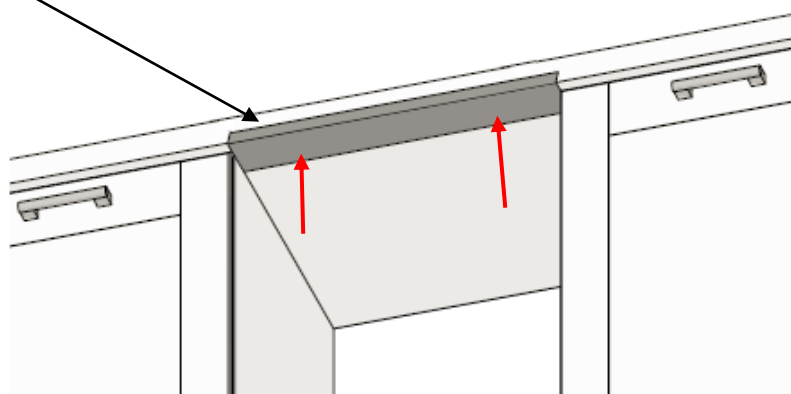
〈U 型ブラケットについて〉

- ・U 型ブラケットはサイホンにより給水が庫内に溜まらない状態や、排水の逆流を防ぐために排水ホースを本体背面の上部で固定しています。
- ・設置例や寸法例のような設置が困難で排水ホースの長さが足りない場合は、排水管を 400 ~ 500 mm の高さで立上げた場合に限り、取外して排水ホースを延長することができます。
(右上図『隣接キャビネットの設置例』参照)

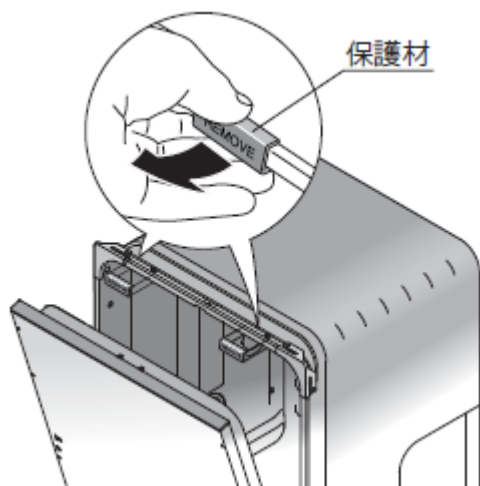
U 型ブラケットを外した場合の、各コードとホースの長さは下図の通りです。



同梱の釘を使用して**防湿板**をキッチン天板の裏に固定してください。



3. ドア内側保護材の取外し

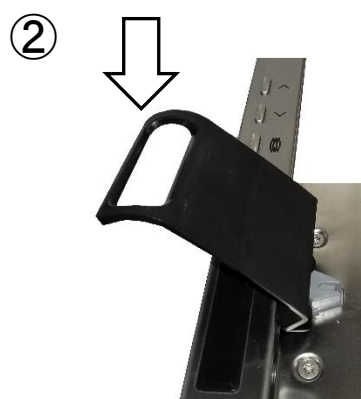
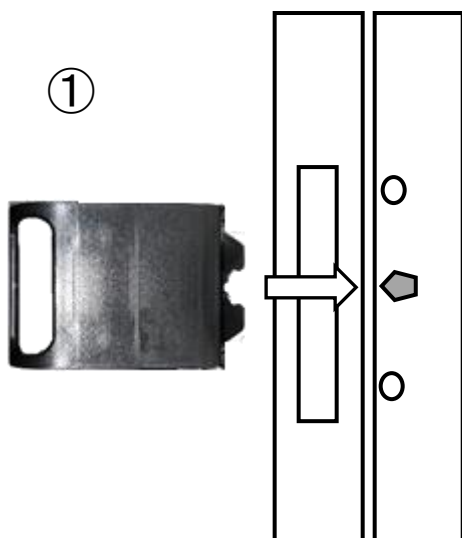


ドアの内側にある赤い樹脂製の保護材(2 個)を取外してください

4. 仮ドアハンドルの使用方法

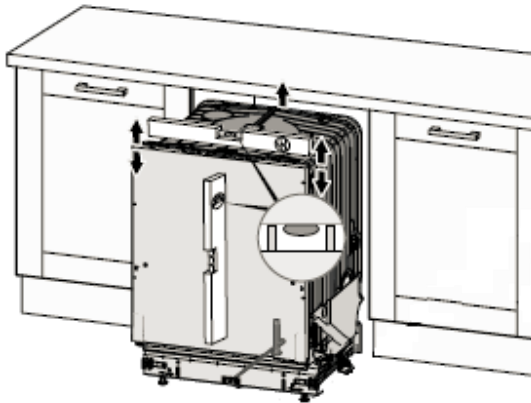
ドア材を取付ける前に、仮ドアハンドルをつける事により、ドアが開けやすくなります。

- ① ドアロック部に仮ドアハンドルの切り欠きを取り付けてください。
- ② 仮ドアハンドルの先端を押してください。
- ③ ドア材を取り付けたら仮ドアハンドルを外して下さい。

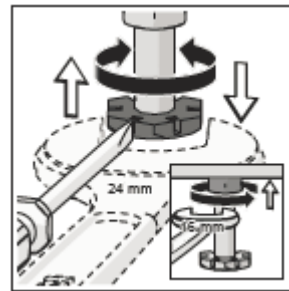


5. 足の調整

カウンターの高さに合わせて機器が水平になるように本体の足を調整します。



前足の調整(2本)



24mm のスパナ 又は マイナスドライバーを使って前脚の高さを調整してください。

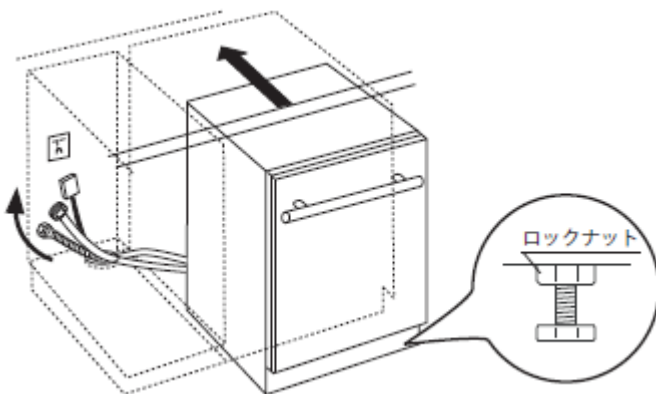
後足の調整(1本)



後脚は T20トルクスドライバー又は 1/4 ボックスレンチを使って後脚の高さを調整してください。

機器の後ろを少し持ち上げると、調整がやりやすくなります。

6. キャビネットへ収まり確認



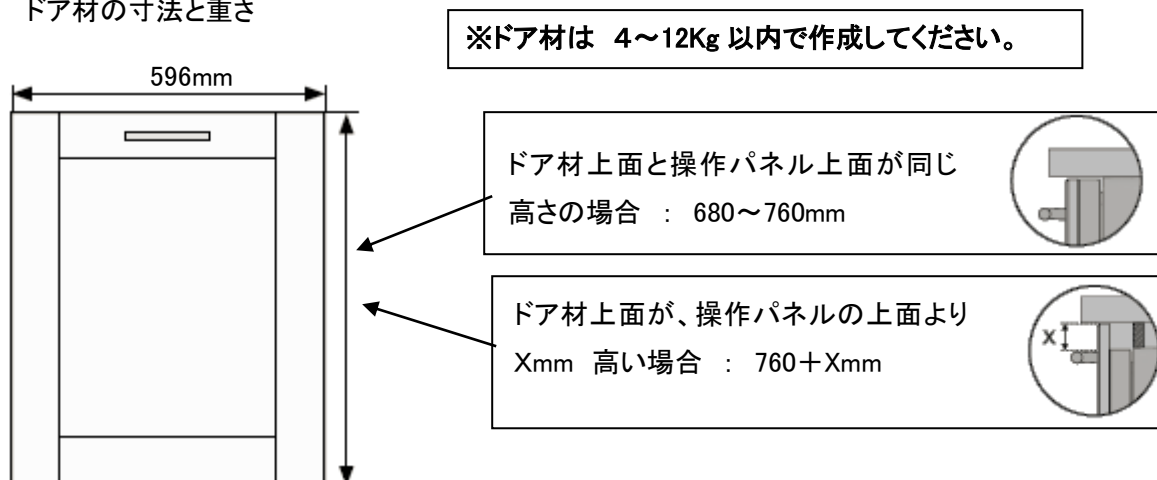
機器の高さが調整出来たら、ホース・電源コードがよじれないように注意しながら引き込み穴に通し、本体を徐々に押し込みます。

本体の水平を確認しながら本体の脚を微調整し、その後にロックナットを締付けます。

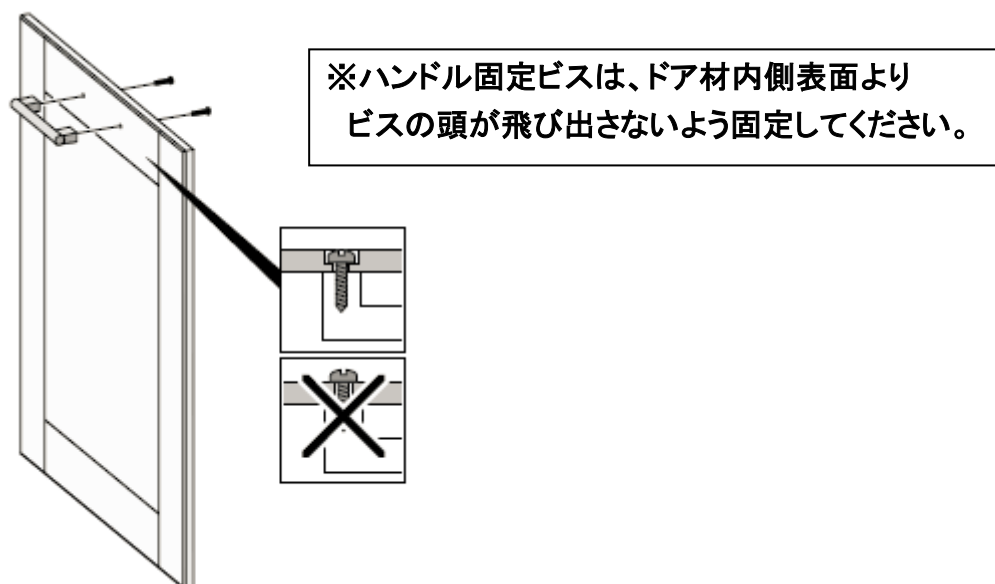
7. ドア材の加工

ドア材に必要な穴を開けます。

ドア材の寸法と重さ



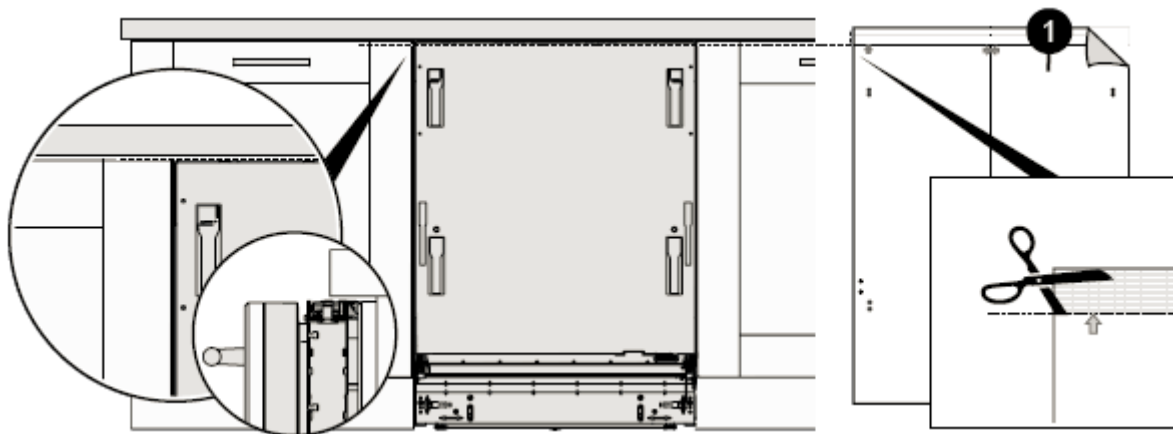
ドア材にハンドルが必要な場合は、この段階で穴を開けてください。



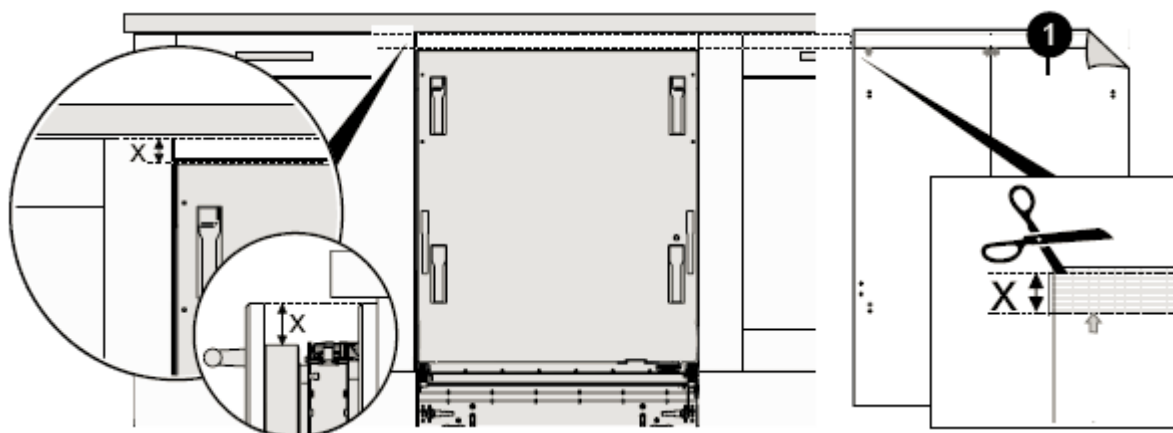
ドア材型紙をドアにセットします。

スライドドア仕様にする場合は、型紙の A 面 を使用
固定ドア仕様にする場合は、型紙の B 面を使用

①:ドア材の上面と操作パネルの上面が同じ高さの場合の型紙カット位置してください。

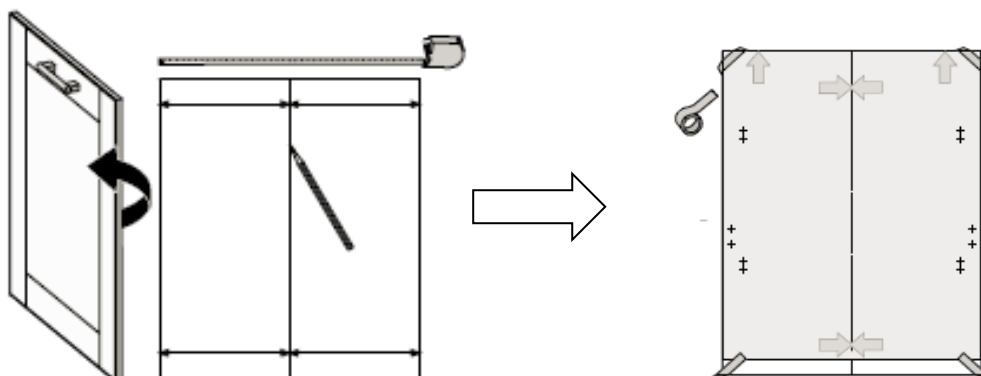


②:ドア材の上面が、操作パネルの上面より Xmm 高い場合の型紙カット位置

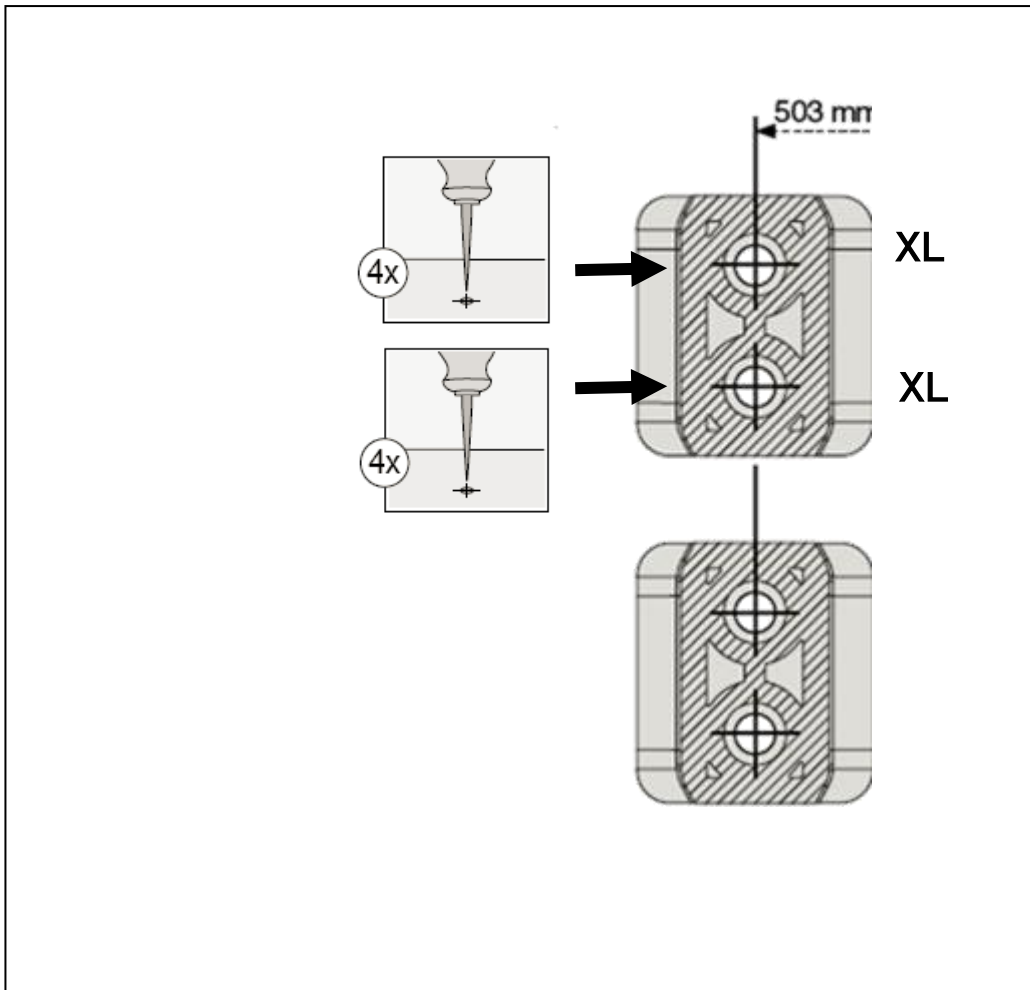


固定ドア仕様 型紙 B 面

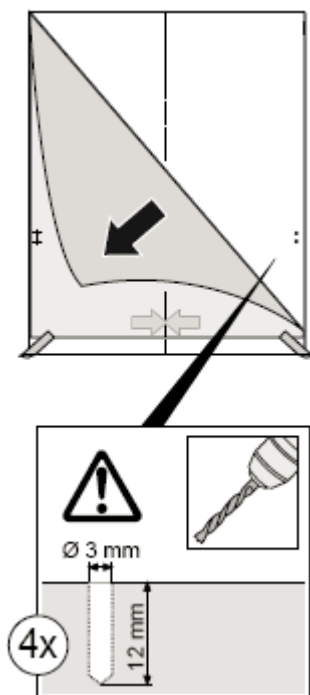
ドア材のセンターと型紙のセンターを合わせ、型紙をドア材の内面にテープで固定してください。



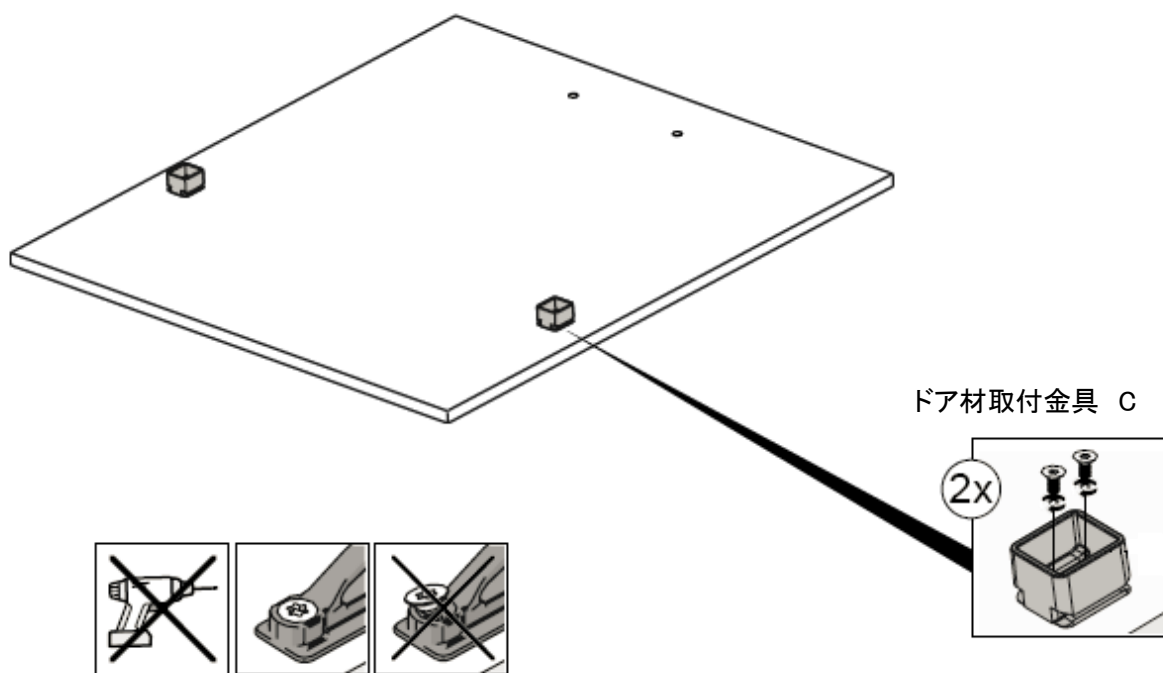
XLと書かれた、ドア材取付金具 の穴位置 4か所 に センターポンチを打ってください。(下図矢印部)



型紙を外し、ポンチを打った部分に直径 3mm、深さ 12mm の穴を開けてください。

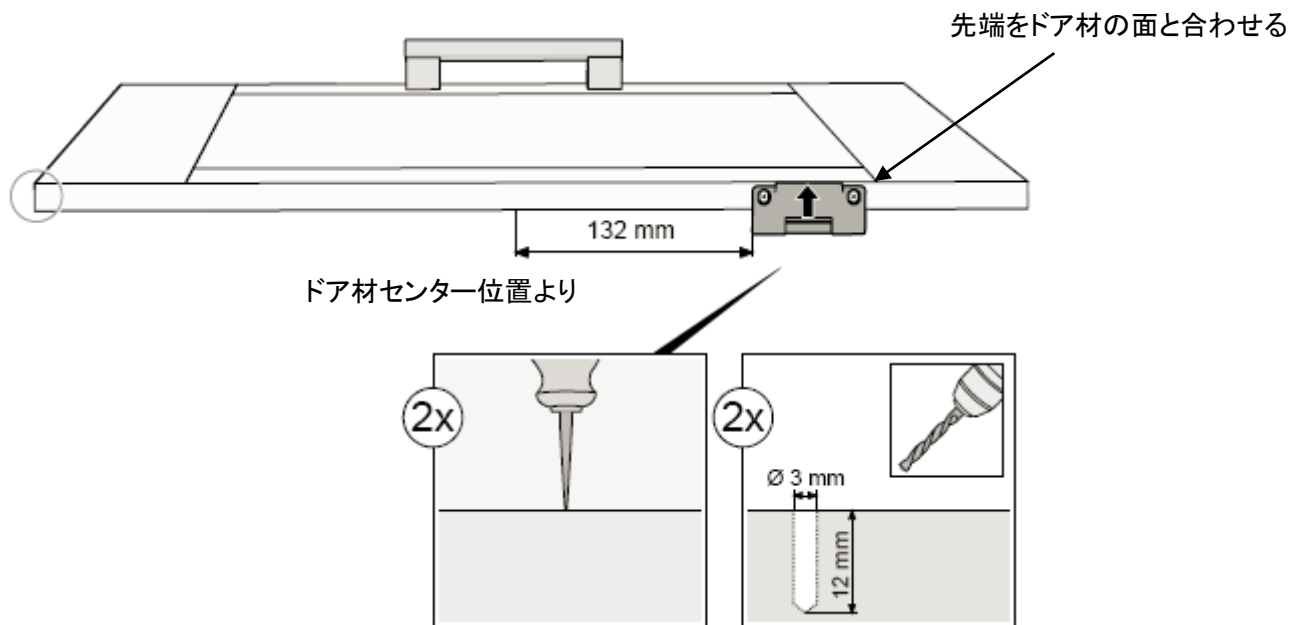


ドア材取付金具 C を ネジ (T20 x 15mm) を使い、固定してください。

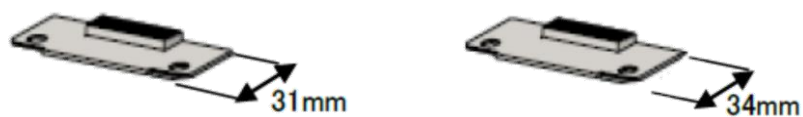


注意 : ネジは電動工具を使わず手締めで願います。
ネジは最後まで正しく締めてください。

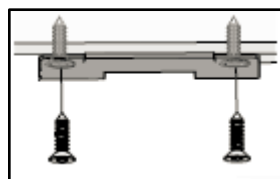
下図を参照して、ステータスライト金具取付用穴を $\Phi 3\text{mm}$ のキリで深さ 12mm に 2 か所 開けてください



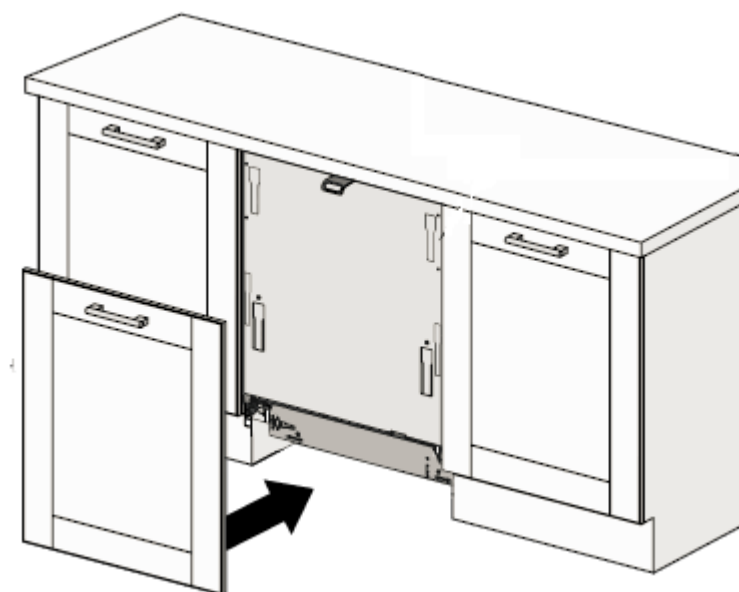
ドア材厚みが 16~19mm は 奥行 31mm タイプ 19~22mm は 奥行 34mm タイプ を使用してください。



T20 x 15mm 使用してステータスライト金具を取り付けてください。

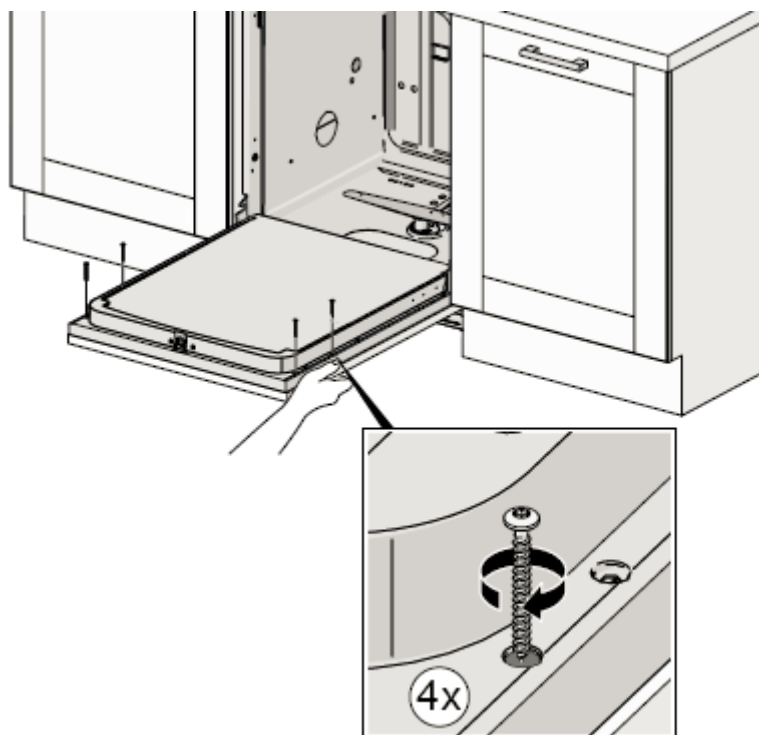


機器にドア材を取り付けます。



8. ドア材の固定

ドアを開き、ドア材固定ネジ(T20 x 38mm)4本でドア材を固定してください。



9. 給排水・電源の接続

給排水・電源を接続してください。

本体設置後、給排水・電源を接続します。

※本体の設置箇所と給排水の接続箇所が離れていて標準の給排水ホースの長さが足りない場合は、下記のオプションホースに取り換える必要があります。

●給水延長ホース（パーツ番号 8060027 / 長さ 3m）

●排水延長ホース（パーツ番号 8060026 / 長さ 3m）

※給水ホースの締付けトルクは 15Nm です。

排水ホースの固定

1) 排水ホースの先端にサンリーゴムを差込みます。

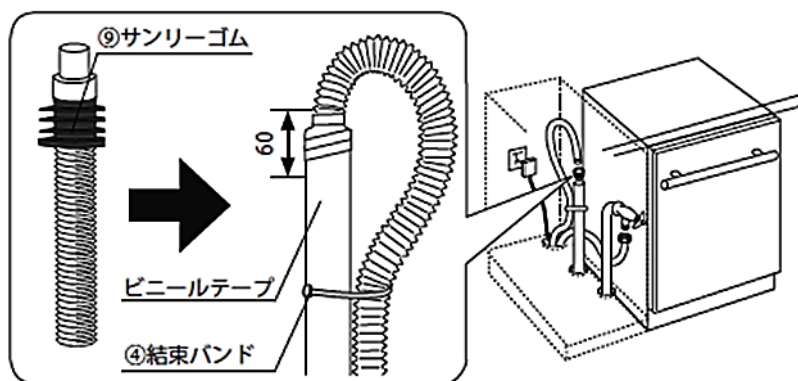
※サンリーゴムは右図の位置までしか入りません。

2) 排水管に排水ホースを差込みます。

排水ホースを差込んだ後に、結束バンドなどを使用して排水管に固定してください。

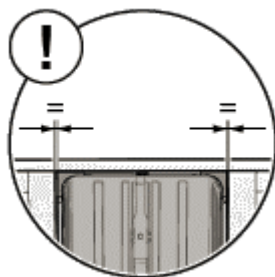
3) 排水ホースの設置状態により排水ホースとサンリーゴムの間に隙間が発生することがあります。

隙間がないように幅広のビニールテープを巻きつけてください。



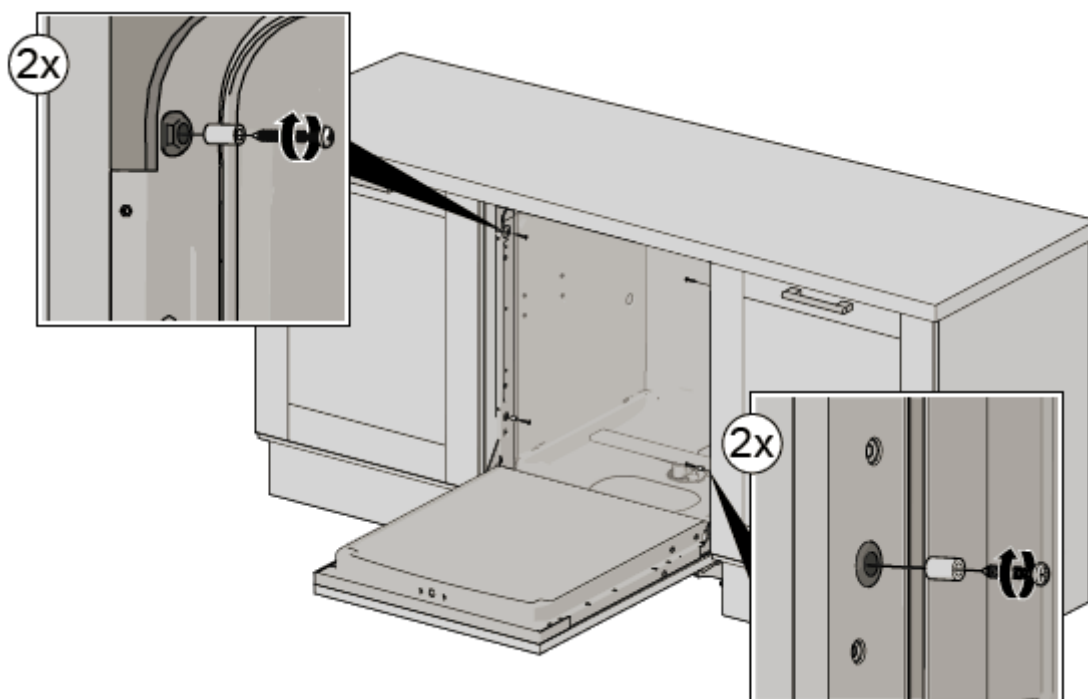
10. 機器の固定

機器の左右の隙間が同じになるよう、
機器の左右の位置を調整してください。



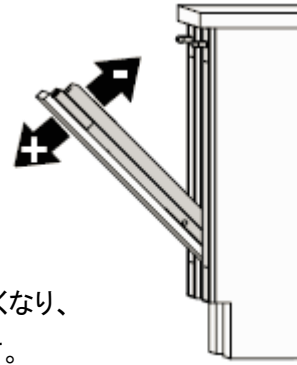
本体固定用スペーサーと長さ 25mm のネジを使って、4 か所固定してください。

ビスを強く締めすぎると、本体が変形し水漏れなどの原因となります。本体が変形しないように確認しながら
手締めでビスを締めてください。



10. ドアスプリングの調整

ドアスプリングが強過ぎないか、反対にスプリングが弱くてドアがバタンと落ちないか確認し、必要に応じて左右のドアスプリングを調整してください。

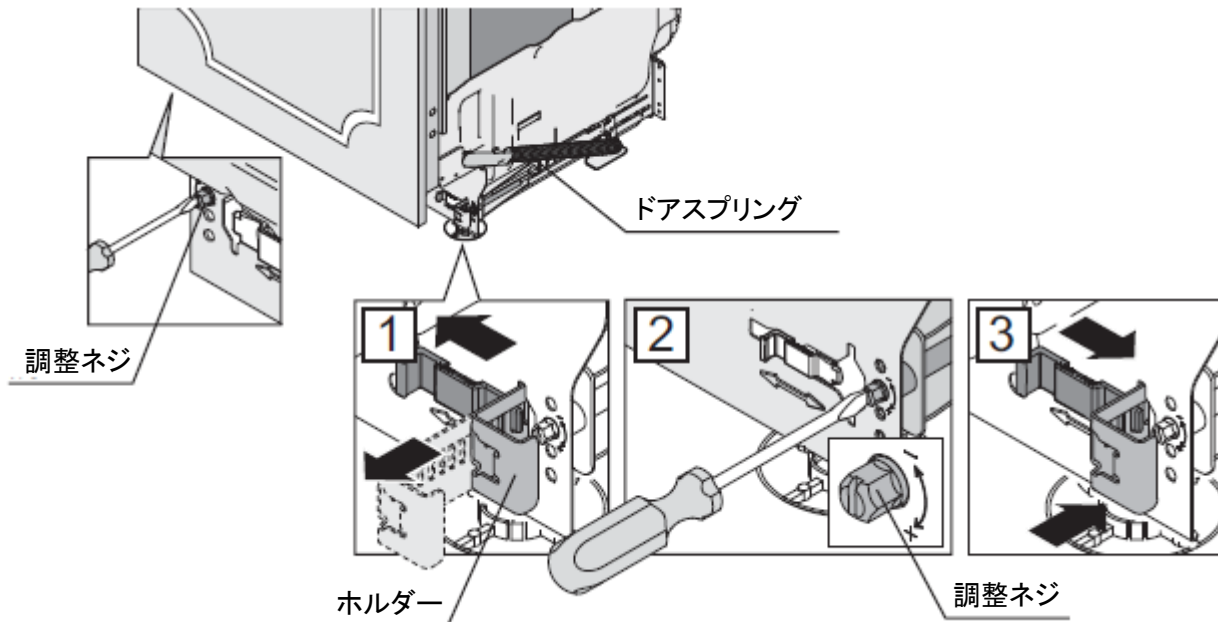


- 1) ホルダーを取外します。
- 2) 調整ネジを使用してドアスプリングの張りを調整します。

調整ネジを時計方向にまわすとドアスプリングの張りが強くなり、
反時計方向にまわすとドアスプリングの張りが弱くなります。

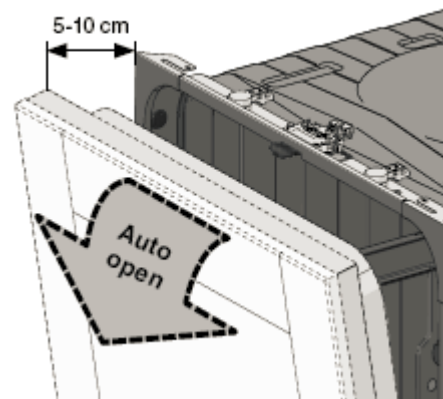
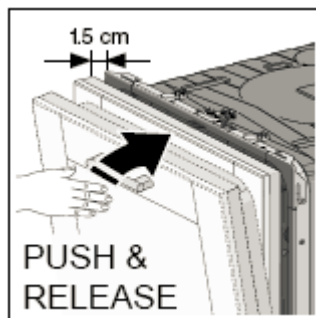
注意 : ドアスプリングの調整は、ドアをどの位置で放してもドアが自然に動かないようにしてください。

- 3) プリンパネルホルダーを取付けます。



ドア開閉の確認

ドアを手で押した場合は、1.5cm 程度ドアが開きます。
オートオープンで開いた場合は 5～10cm 程度開きます。



11. 設置工事後の点検確認事項

本機を作動させる前に、下記内容を点検してください。

- 排水管が床面から 400～500 mmの高さに立ち上げられている。
- 排水ホースが排水ポンプ、および排水管に接続される。
- すべての梱包材や説明書等が本機から取外されている。
- 本機が水平で正しく固定されている。
- ドアを開閉しても周囲のキャビネットやカウンタートップに接触しない。
- 給水(給湯)ホースや排水ホースが折れていない。
- 止水栓が開いている。
- 接続箇所からの水漏れが無い。
- ドアスプリングの調整は正しいか。(ドアを半分開けても、ドアが下がらない)

試運転時は給水と排水を最低限 1 回行い、下記内容を確認してください。

- 給水(給湯)では、水が完全にフィルター表面を覆うまで入っているか[最初に給水(給湯)する際は、給水パイプ内に空気が残っているため、きちんと給水(給湯)されない場合があります]。
- 適切に排水されているか[臭気止めのため、庫内フィルター付近に多少の水は残ります]。
- 給排水の接続部には漏水がないか。

輸入販売元 **株式会社 ツナシマ商事**

<http://www.tsunashimashoji.co.jp/>

本社 〒106-0031 東京都港区西麻布 2-22-2 電話 03-6712-5721 (代)
大阪営業所 〒567-0031 大阪府茨木市春日 1-16-11 1F 電話 072-657-9907 (代)